

電動糸のこを使おう

山形県川西町立犬川小学校 鈴木 誠

■ 授業のねらい

電動糸のこを使って、木の板を切り、ブックスタンド等の作品作りを行う授業です。曲線を利用して作る作品の楽しさを感じ取ることができます。また、電動糸のこの使い方をすることができます。

■ デジタルコンテンツからの学び

木の板を切る際に、それほど力をかけずに曲線や直線できることができ、電動糸のこは、とても便利な道具です。しかし、切り始めるまでには、刃をつけたりする準備が必要になります。また、自分の思い通りに安全に切るためにも、板の動かし方や手の置き方に気をつけなければなりません。そこでこのコンテンツでは、以下の4つの動画クリップを準備しました。



1
刃
の
つ
け
方
か

ら切り方まで

2. 下の刃の付け方

3. 上の刃の付け方

4. いたの動かし方と手の置き方

■ 教材作成のポイント

電動糸のこの使い方を、刃の付け方から切り方までの流れを子どもたちに見せても、刃の付け方や板の動かし方など、細かい点が見つらなくなります。そのため、上下の刃の付け方、曲線を切るときの板の動かし方をアップにして撮影しています。

■ 授業の流れ（電動糸のこの使い方について1時間）

1. 導入

糸のこを使って作った作品を見せ、子どもたちに作品のイメージを持たせます。教科書に載っている作品だけでなく、実際に糸のこで切った作品を見せると良いでしょう。特に、糸のこを使って曲線で切った作品を見せると良いでしょう。4年生に使ったのこぎりとは違って、糸のこでは曲線で切れるということを意識させることが大切です。



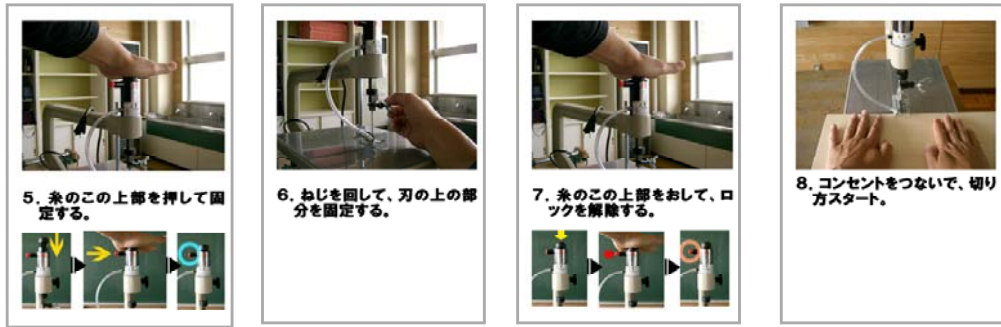
2. 電動糸のこの使い方の学習

電動糸のこを使っているコンテンツを見せ、電動糸のこの使い方の全体のイメージを持たせます。その後、使い方の手順を印刷した紙を提示しながら、使い方を説明します。説明している中で、刃の下の止め方、刃の上の止め方、板の切り方については、コンテンツも交えながら説明します。

その際、以下の点に気をつけ、安全に電動糸のこぎりを使えるようにする。

- ・刃の取り付け・取り外しの際には必ずコンセントをはずして行う。
- ・糸のこの刃の向きに気をつける。
- ・板を切る際には、刃の前に手を置かないこと。
- ・曲線に切る場合には、板を回すように動かすこと。（横に動かすと刃が折れます。）





3. 実際に電動糸のこを使う。

刃の取り付けを行います。取り付けたら、実際に板を切る前に電源を入れてみます。そうすることによって、きちんと取り付けられているか確認することができます。

次に、実際に下書きを描いた板を切ります。まずは、一人一つずつ切り、全員が糸のこで切る体験をすることができるようにします。

最後に、刃を取り外して片付けをします。

※ 次時以降、刃を取り付け・取り外しする児童を交換し、単元内で全員が体験できるようにします。また、児童の手助けとなるように、電動糸のこの使い方のプリントを掲示しておくとともに、いつでもコンテンツを見て確認できるようにしておきます。